

授業科目 経営戦略論

【担当教員名】 野水 弘祐	対象学年	3	対象学科	情報
	開講時期	前期	必修選択	選択
	単位数	2	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○			
【概要】 我々の生活は、企業活動と密接に結びついている。われわれが生活において必要としている様々な物資やサービスは、ほとんどが企業から提供されている。多くの人は、それを購入するための資金を企業で働くことによって獲得している。社会の安定と発展のために、企業活動の安定と発展が不可欠である。企業活動の安定と発展は、個別企業の立場からみれば、環境変化に適応し、他の企業との競争に打ち克ち、存続と発展を達成することである。このため経営者は、常に長期的な観点にたった企業活動の展開を心掛けていかなければならない。長期的な観点から企業活動の構造的な変革を方向付けることを「経営戦略」という。 「経営戦略論」では、経営戦略の生成・展開の経緯をふまえ、その全体像について考察する。				
【学習目標】 経営戦略の全体像を理解するために、次のような項目についての基礎的な理解を習得する。 1) 多角化戦略 2) 国際化戦略 3) 成長戦略				
回数	授業計画・学習の主題		SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	1. 経営戦略論はどんな学問か (1) 経営戦略論の生成と展開			
2	(2) 経営戦略論の主要領域			
3	2. 多角化戦略			
4	(1) 多角化の論理			
5	(2) 企業ドメインと多角化			
6	(3) 最適な多角化			
7	(4) 多角化の方法			
8	(5) いくつかの事例：ソニーほか			
9	3. 国際化戦略			
10	(1) 国際化の論理			
11	(2) 国際化の段階			
12	(3) 国のポートフォリオの選択			
13	(4) グローバル企業の経営体制			
14	(5) いくつかの事例：ファーストリテーリング（ユニクロ）ほか			
15	4. 成長戦略 (1) ライフサイクルの段階と成長戦略 (2) 基本的競争戦略 (3) 価格戦略			
【使用図書】				
	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書				
経営戦略—論理性・創造性・社会性 大滝精一 他 有斐閣 2006・1,995円 の追求（有斐閣アルマ）				
経営戦略の論理（第3版） 伊丹 敬之 日本経済新聞社 2003・1,995円				
その他の資料				
プリント配布				
【評価方法】 出席状況と期末テストを総合して評価する。		【履修上の留意点】 ・配布したプリントによって授業を行うので、毎回出席すること。 ・その時々時事問題についても解説するので、新聞（できれば日本経済新聞）の経済欄に常時目を通してきて欲しい。 ・毎回、質問の機会を設け、出席調査票を質問票兼用とするので、不明の点は随時質問して欲しい。		